

学校教育目標

新しい時代を自ら切り拓き、たくましく生きる鴨中生の育成

<目指す生徒像>

自らの将来(夢・目標)を見据え

〔賢く〕確かな学力 ----- 【自学】
〔正しく〕正しく判断、自ら行動 ----- 【自律】
〔たくましく〕頑張りのきく体力・精神力 ----- 【活力】

自己実現(自立)

に励むことのできる鴨中生

自分の考えをしっかりと持ち、どんな時にでも、自分の行動をコントロールできる

(夢・目標) (うまくいってるとき、調子の悪いとき) (どうするか)

- ・「突破力」…壁にぶち当たったときに、前に進む力(ピンチをチャンスに)
- ・「回復力」…失敗したときに、何とかして立ち上がる力(失敗は誰にでもある)

H23の統合・鴨川中開校以来、ずっと大切に歴代の職員に受け継がれてきた教育目標。その具現化に向け、私たちは日々、様々な工夫を凝らしながら実践を重ねていきます。そのアプローチの一つの方向性(意識のあり方)として、私からは『5つの教育(きょう育)』を提唱します。

協育

互いの協力、支え合い無くして「教育」は成立しません。日々、『チーム鴨川中』を意識し、その総力を結集して生徒たちと向き合っていきましょう。

響育

誰かの頑張りやちょっとした工夫を「いいな」と感じて自分の実践に取り入れる。一人一人が同僚を意識し、互いに影響し合うことで、全体として一つの美しいハーモニーを奏でる…。魅力的な職員集団は、魅力的な生徒を育てます。無論、『響』には「すてきな歌声、笑い声が響く学校」という思いも込められています。

郷育

長い歴史と伝統、豊かな自然と文化を誇る鴨川中学校区。地域の方々も大変協力的です。郷土から学び、郷土を愛する生徒だからこそ、いずれさらに広い世界で“新しい時代を自ら切り拓き、たくましく生きる力”を持てるのです。

今日育

「教育」に焦りは禁物。結果を急ぐばかりに却って遠回りになることも往々にしてあるものです。それでもなお、生徒に対して、保護者に対して『今日』勝負しなければならない場面は必ず訪れます。その勝負すべき「今」を見逃さない感性を、常に研ぎ澄ませておきたいものです。

共育

上記4つの『育』は「育てる」という意味。しかし、この最後の『育』には、生徒たちと私たち教職員が「共に育つ」という願いが込められています。生徒(保護者)は、日々様々なサインを私たちに送っています。「できた!」「うれしい!」そんな生徒たちの笑顔や涙、前向きな眼差しは、同時に私たち教職員をさらに大きく成長させてくれます。生徒(保護者)に何を伝え、そして自分自身が何を感じ、学ぶのか。多くのことを教えられる教師は、また同時に多くのことを学び、成長し続けているのです。

3年強に及んだコロナ禍での制約が多かった学校生活。これからは、一人、また一人と“顔”と“心”を覆っていたマスクを外していくことでしょう。まさに今日から、生徒たちや先生方の心からの笑顔、笑い声が響き合うR5・鴨川中を実現していく中で、「学力向上」「自己肯定感の育成」「ICT活用」「働き方改革・業務改善」「小中一貫・中高連携」「地域連携(コミュニティ・スクール)」等、様々な今日的教育課題に、職員一同、心を一つにして立ち向かっていきたいと思います。